

# 中部横断自動車道(新清水JCT～増穂IC間) 連絡調整会議(第4回)

## 説明資料

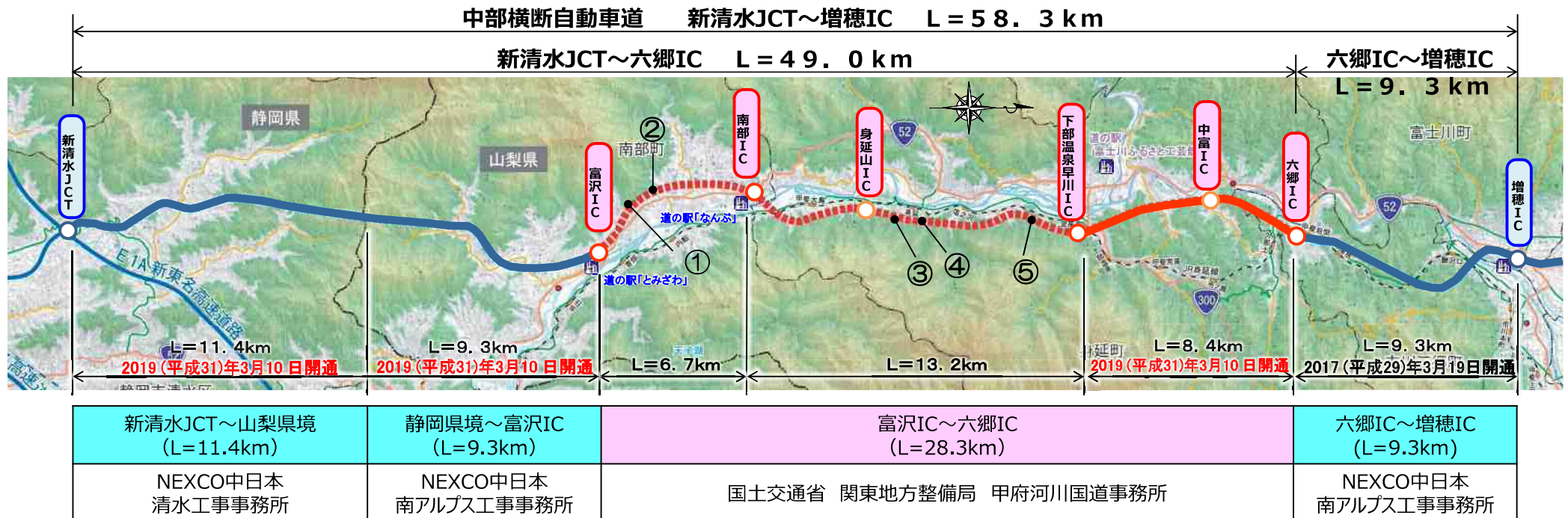
2019年 3月 19日

国土交通省関東地方整備局  
甲府河川国道事務所

中日本高速道路株式会社東京支社  
清水工事事務所  
南アルプス工事事務所

# 新清水JCT～増穂IC間の状況（2019年2月末時点）

- 当該区間は、急峻な山岳地帯を通過していることから、全延長58.3kmのうち、トンネル延長が約6割、橋梁延長が約2割を占める。
- 新清水JCT～六郷IC間における用地進捗状況は、新清水JCT～富沢IC間約99%、富沢IC～六郷IC間100%取得済み。
- 工事が難航しているトンネルについては、十分な安全対策を講じつつ慎重に工事を推進（全27本のうち1本が工事中 [26本については本土工完成]）
- 橋梁については、トンネルと近接する箇所が多いことから、調整を図りつつ工事を推進（全54橋のうち16橋が工事中 [38橋については架設完成]）



なんぶちょう かぞね  
①南部町楮根  
(2019.3撮影)



しおざわ  
②塩沢トンネル  
(2019.2撮影)



ほっせんざわ  
③法洗沢川橋  
(2019.3撮影)



いりのざわ  
④入之沢川橋  
(2019.1撮影)



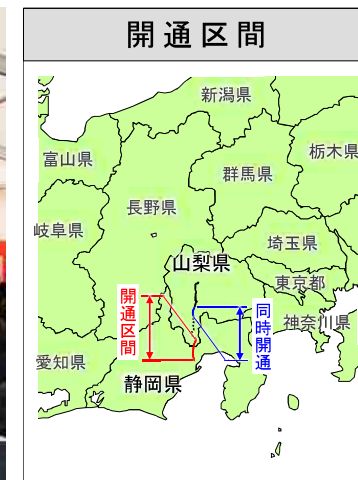
みのぶちょう しもやざわ  
⑤身延町下八木沢  
(2019.3撮影)

※トンネル・橋梁名称は仮称

# 中部横断自動車道(新清水JCT～富沢IC)の開通について

## 開通式等概要

- ◇ 日時 2019(平成31)年3月10日(日) 9時～12時00分頃
- ◇ 主催 中日本高速道路(株)
- ◇ 場所 式典・セレモニー((株)アイエイアイ 庵原事業所)  
除幕式(富沢IC)
- ◇ 参加者 約450人  
(国会議員、国土交通大臣、静岡県知事、山梨県知事、沿線市町村長、  
道路局高速道路課長、整備局長、整備局道路部長、  
県会議員、市町村議員、地権者、施工業者、地元関係者等)
- ◇ 次第 挨拶、祝辞、はさみ入れ、くす玉開き、通り初め



## 式典・セレモニー

石井大臣挨拶



静岡県知事挨拶



### <中部横断自動車道への期待の声>

- ◇ 静岡県知事
  - ・災害の時には、中央道からの櫛の歯にあたる。
  - ・山梨県のブドウやモモを清水港から世界に運ぶための道でもある。
  - ・山梨県から静岡県に来てもらえ、静岡県から山梨県に行けるような文化の道にもなる。
- ◇ 山梨県知事
  - ・県外との交流が、人・ものとも大いに拡大することが期待され、静岡はもとより中京圏との交流がさらに活発になるものと期待。
  - ・関係団体や沿線自治体とも連携しながら、街づくり、地域づくりにしっかりと取り組んでいく。

山梨県知事挨拶



パレード(新清水JCT～富沢IC)



式典参加者全員での万歳三唱



## 除幕式

富沢ICでの除幕式



地元「富沢の郷白鳥太鼓保存会」の演奏



# 中部横断自動車道(下部温泉早川IC~六郷IC)の开通について

## 开通式等概要

- ◇ 日時 2019(平成31)年3月10日(日) 13時~14時30分頃
- ◇ 主催 関東地方整備局、山梨県、身延町、市川三郷町
- ◇ 場所 式典(中富IC)  
セレモニー(中富IC)
- ◇ 参加者 約400人  
(国会議員、国土交通大臣、山梨県知事、沿線市町村長、  
道路局高速道路課長、整備局長、整備局道路部長、  
県会議員、市町村議員、地権者、施工業者、地元関係者等)
- ◇ 次第 挨拶、祝辞、はさみ入れ、くす玉開き、通り初め



## 式典

石井大臣挨拶



山梨県知事挨拶



### <中部横断自動車道への期待の声>

- ◇ **山梨県知事**
  - ・中部横断自動車道は、沿線地域の産業経済の発展や広域的な観光促進を図る道です。
  - ・開通の効果を最大限発揮させるべく、関係団体や沿線自治体とともに、連携しながら、まちづくり地域づくりについてもしっかり取り組んでいく。

式典参加者全員での万歳三唱



## セレモニー

地元企業のトラックが通り初めに参加



地元「身延町立身延中学校吹奏楽部」の演奏



## プライベート

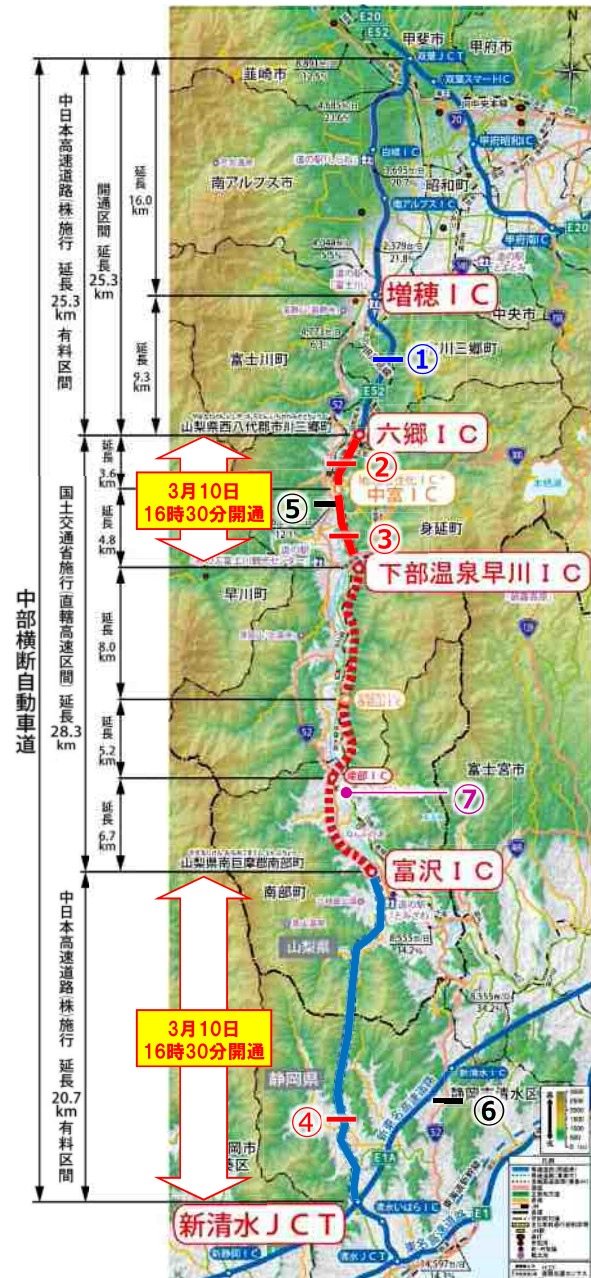
- ◇ 日時 2019(平成31)年3月3日(日) 9時~12時
- ◇ 会場 下部温泉早川IC
- ◇ 主催 身延町
- ◇ 協力 早川町、  
中部横断道3工区設備協議会
- ◇ 後援 国土交通省関東地方整備局  
甲府河川国道事務所、  
山梨県・静岡県中部横断  
自動車道建設促進連合会
- ◇ 参加者 約2,000人

ウォーキングイベント(醍醐山トンネル)

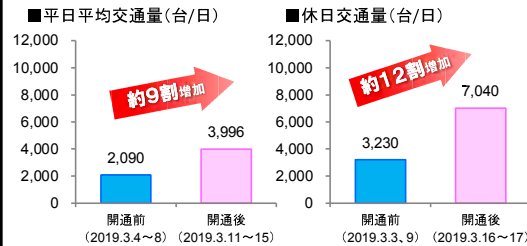


# 中部横断自動車道(新清水JCT~富沢IC、下部温泉早川IC~六郷IC)開通後の交通状況について

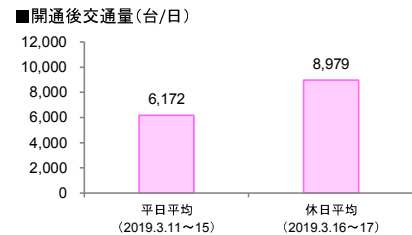
- 今回開通区間の開通後1週間の交通量は、平日で約4,000~6,000台/日、休日で約8,000~9,000台/日。
- 既開通区間の六郷IC~増穂ICの交通量が、平日で約9割増加。下部温泉早川IC~六郷ICに並行する国道52号の交通量は、平日で約1割減少。
- 中部横断自動車道からのアクセスが向上し、道の駅「なんぶ」の来訪者は、開通前と比較して約2倍に増加。



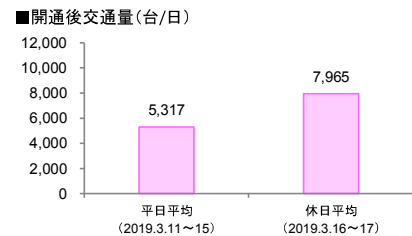
## ①六郷IC~増穂IC



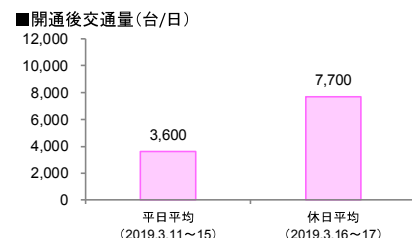
## ②中富IC~六郷IC



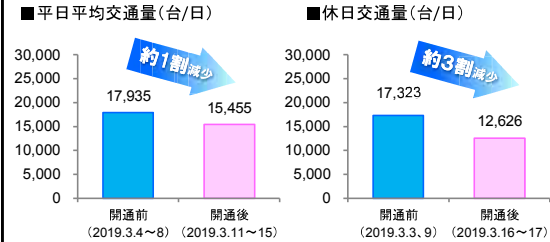
## ③下部温泉早川IC~中富IC



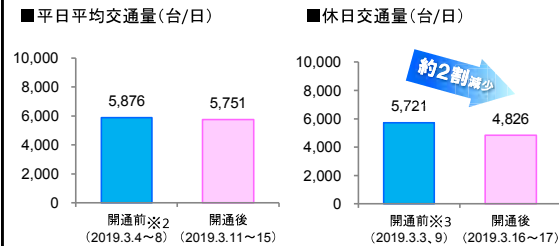
## ④新清水JCT~富沢IC



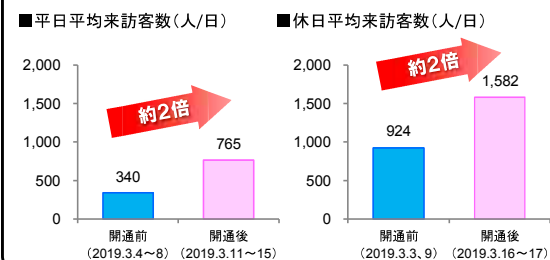
## ⑤並行する国道52号の交通量



## ⑥並行する国道52号の交通量



## ⑥道の駅「なんぶ」



## 沿線住民の声



・特に身延町役場前の交差点は朝夕の渋滞が激しかったが、中部横断自動車道の開通により、渋滞が緩和され、利用しやすくなった。

## 近隣小学校の校長先生の声



・開通後は、本校の周辺の国道及び町道の朝の交通量が減り、児童登校時の心配も少し軽減しました。

## 利用者の声



・新清水JCT~富沢ICが開通し、移動が快適にスムーズになり、静岡側から山梨に来るのが非常に便利になった。

## 道の駅支配人の声

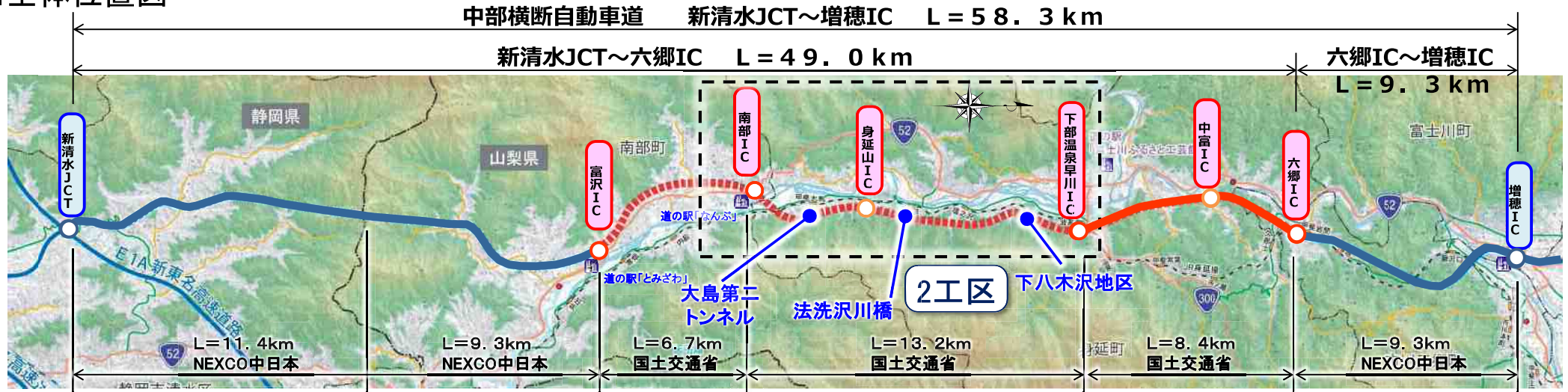


・静岡方面だけでなく、山梨や長野の方からもアクセスが良くなると思うのでたくさんのお客さんに来て欲しいと思っています。

# 中部横断自動車道(新清水JCT~六郷IC)進捗状況について [南部IC~下部温泉早川IC]

- トンネル10本のうち、9本が本体工完成。本体が完成したトンネルより、順次設備工事に着手。
- 脆い地山であるため、十分な安全対策を講じつつ慎重に工事を推進。
- 橋梁23橋のうち、7橋が完成。

## 全体位置図



## 南部IC~下部温泉早川IC(2工区)の進捗状況【トンネル】



■南部IC～下部温泉早川IC(2工区)の進捗状況【橋梁】



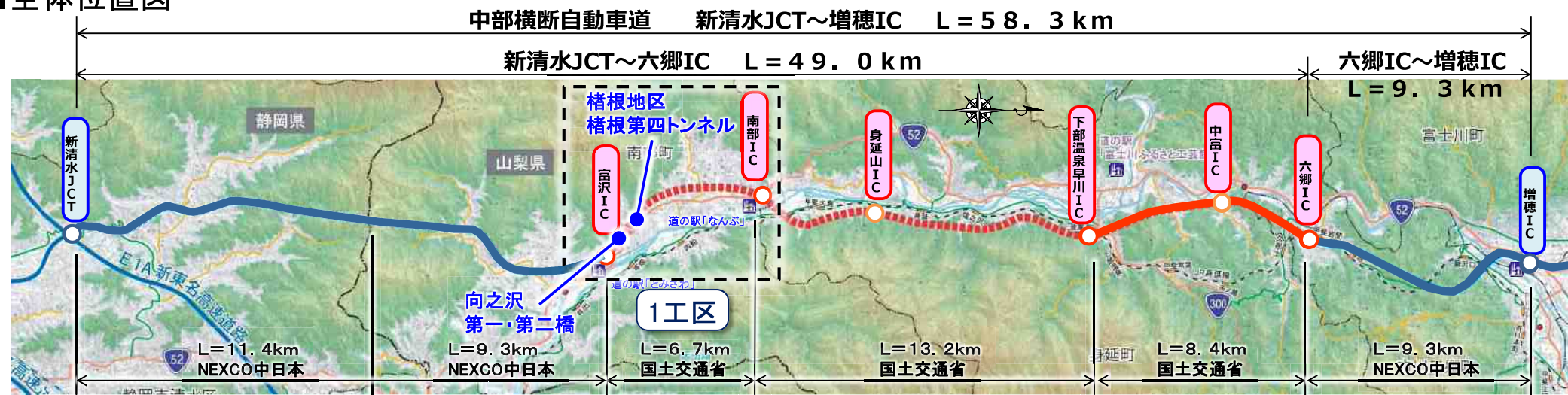
■南部IC～下部温泉早川IC(2工区)の進捗状況【改良】



# 中部横断自動車道(新清水JCT～六郷IC)進捗状況について [富沢IC～南部IC]

- トンネル5本のうち、5本が本体内完成。本体が完成したトンネルより、順次、舗装及び設備工事に着手。
- 脆い地山であるため、十分な安全対策を講じつつ慎重に工事を推進。
- 橋梁10橋のうち、10橋が完成。

## 全体位置図



## 富沢IC～南部IC(1工区)の進捗状況【トンネル】

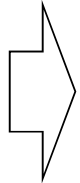




■富沢IC～南部IC(1工区)の進捗状況【橋梁】



■富沢IC～南部IC(1工区)の進捗状況【改良・橋梁】





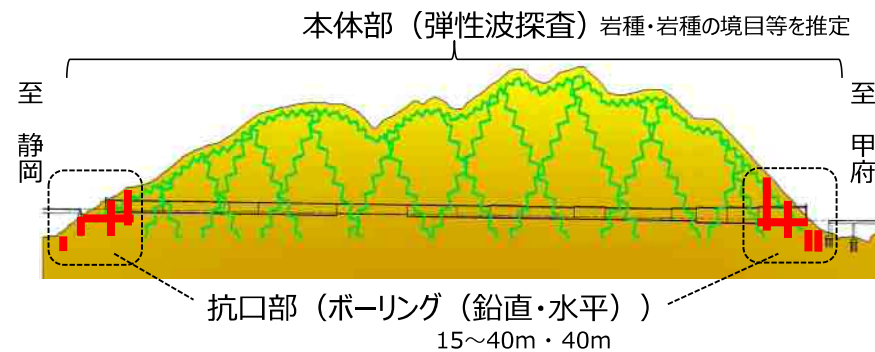
# ①地盤が脆いことによるトンネル対策工の追加

- 詳細設計を行うにあたり、支保パターン決定の目安となる地山分類を設定するため、調査(ボーリング(鉛直・水平)、弾性波探査)を実施。
- 調査より得られたデータから地山分類を設定し、支保パターンを決定。
- 必要となる補助工法(長尺鋼管フォアパイリング等)については、脆い地山の出現割合が想定以上に高いことや、低土被り部での突発湧水、切羽崩落が顕著に発生したため、**支保構造の強化、補助工法による対策区間を更に追加。**
- 下八木第一トンネルは、先行ボーリングにより、脆い地盤(泥岩)が100%確認され、更に近傍の同様な泥岩の実績で内空変位が発生していることから、**支保構造の強化、補助工法による対策区間を更に追加予定。**

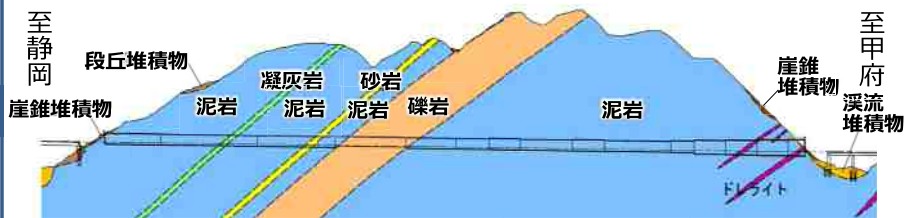
## かみやぎさわ 事例：上八木沢トンネル(L=677m)

### ① 調査

#### ■ ボーリング (鉛直・水平)、弾性波探査

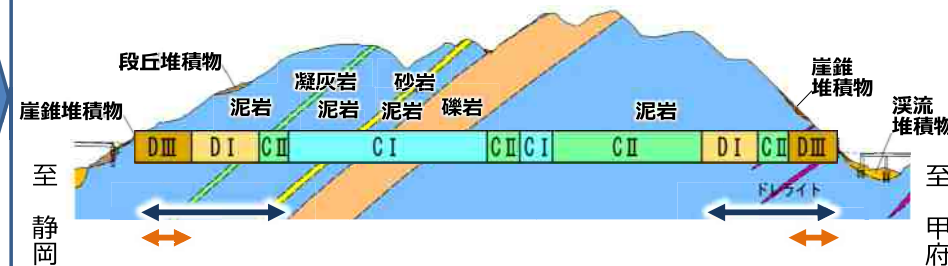


#### ■ 調査結果を基に地質縦断図作成

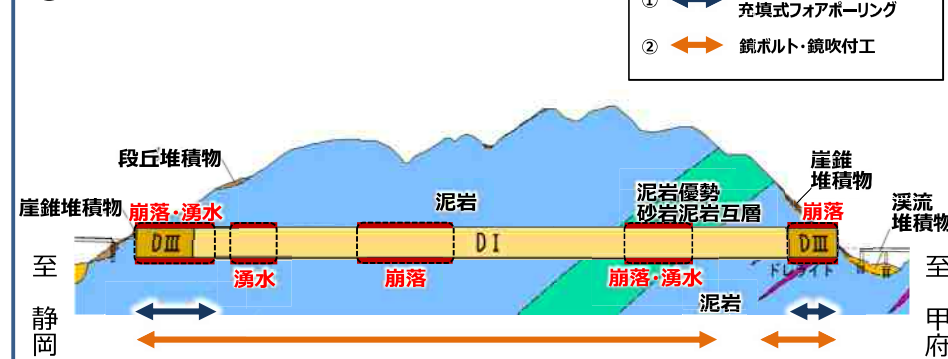


地山状況	← 硬い		脆い →		
地山区分	CI	CII	DI	DI	DIII (坑口・低土被り部)
支保パターン		 支保工追加 ロックボルト増加 標準掘削長の変更	 吹付増厚 ロックボルト延伸・増加 インバート追加 標準掘削長の変更	 支保工増厚 吹付増厚 インバート増厚	 吹付増厚 ロックボルト追加 覆工増厚

### ② 詳細設計 (弾性波探査等から地山分類を設定し、支保構造を決定)



### ③ 施工 (支保パターン見直し)



■ 南部IC～下部温泉早川ICのトンネルで発生している難航事象

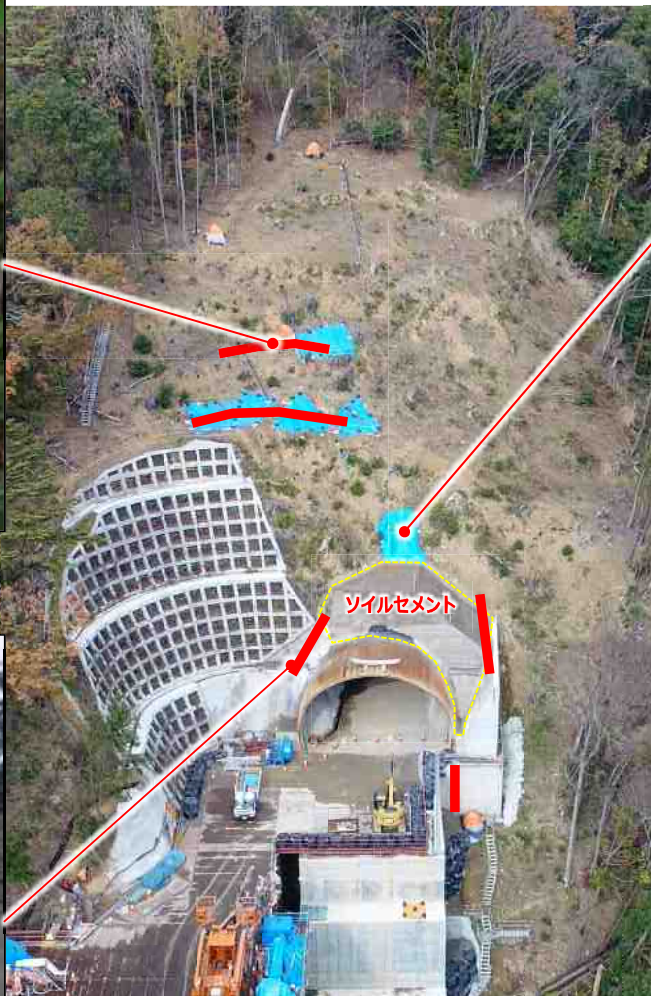
番号	トンネル名 (掘削/全長)	崩落	変形	湧水	重金属
1	上八木沢 (678m/678m)	◎		◎	○
2	下八木沢第二 (284m/284m)	◎			◎
3	下八木沢第一 (26m/399m)	●			
4	帯金第二 (856m/856m)	◎		●	○
5	帯金第一 (267m/267m)	◎		○	
6	丸滝 (925m/925m)	●			
7	角打 (310m/310m)	●			
8	和田 (731m/731m)	○			○
9	大島第二 (902m/902m)	○		◎	○
10	大島第一 (211m/211m)	○			

● 新たに発生した事象  
◎ より顕著となった事象

# ①地盤が脆いことによるトンネル対策工の追加

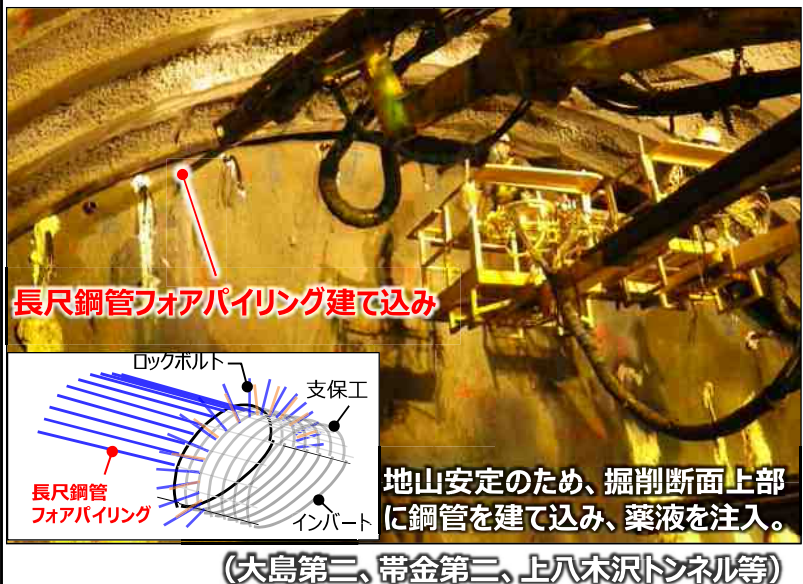
- トンネル掘削に伴い、強風化された土砂の緩みが地山変状を引き起こし地表面まで貫通する崩落が発生。
- 強風化された土砂の緩み箇所をグランドアンカー工に見直し。

## ■抗口付近地山変状の状況 (下八木沢第一トンネルの事象)



# ①地盤が脆いことによるトンネル対策工の追加

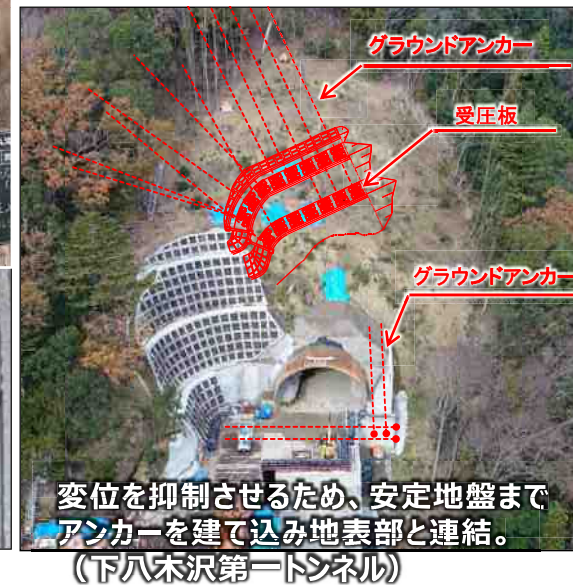
## ■ 補助工法 (長尺鋼管フォアパイリング)



## ■ 湧水対策 (ウレタン系注入材)



## ■ 地滑り対策



## ■ 鏡吹付コンクリート



## ■ 鏡ボルト



## ■ 土木研究所 現地調査状況

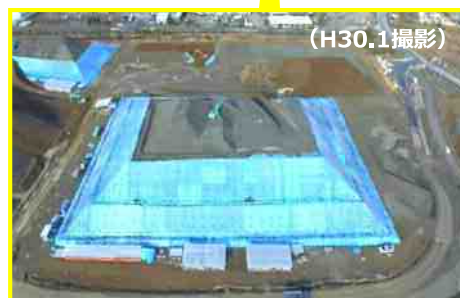


## ②第2種要対策土の増に伴う対策工の追加

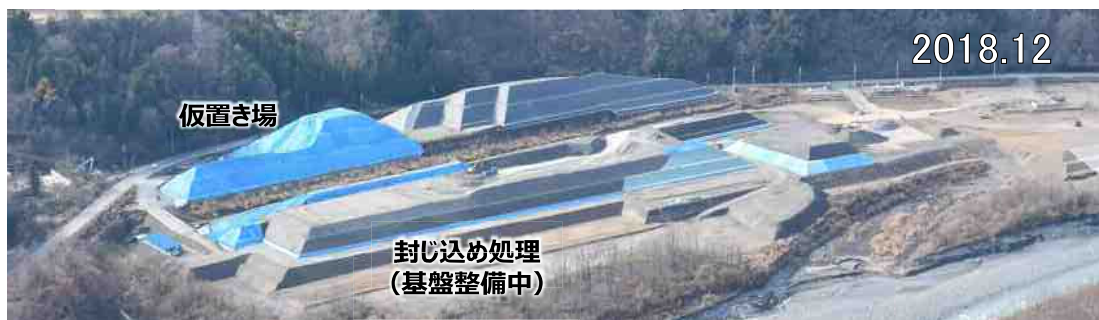
- 自然由来の重金属を含む掘削土(要対策土)については、搬入地の準備が整い次第、順次、封じ込め処理を実施中。
- 南部IC～下部温泉早川IC間の帯金地区の法面工事においても、要対策土が想定していなかった範囲で発生しているため、仮置き場を追加整備して対応している。
- 封じ込め処理を実施している箇所だけでなく、仮置き場についても水質モニタリングを実施。

### 封じ込め処理の状況

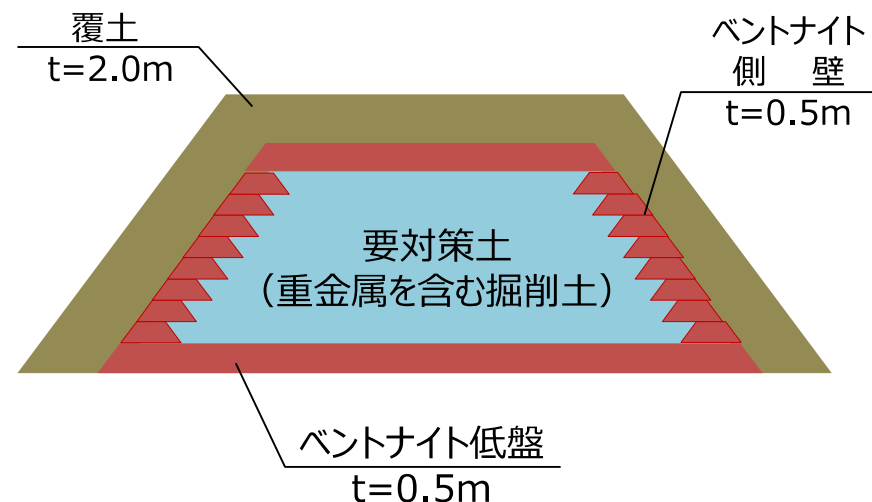
#### 【下山地区】



#### 【栗倉地区】



#### 封じ込め盛土構造



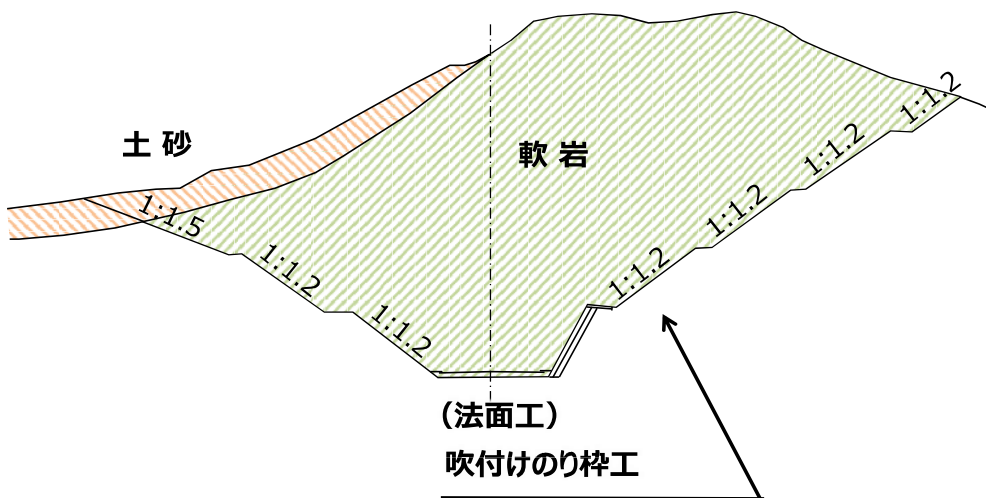
※処理方法については、  
有識者からなる「発生土利用検討委員会」にて決定

### ③法面工における対策工の追加

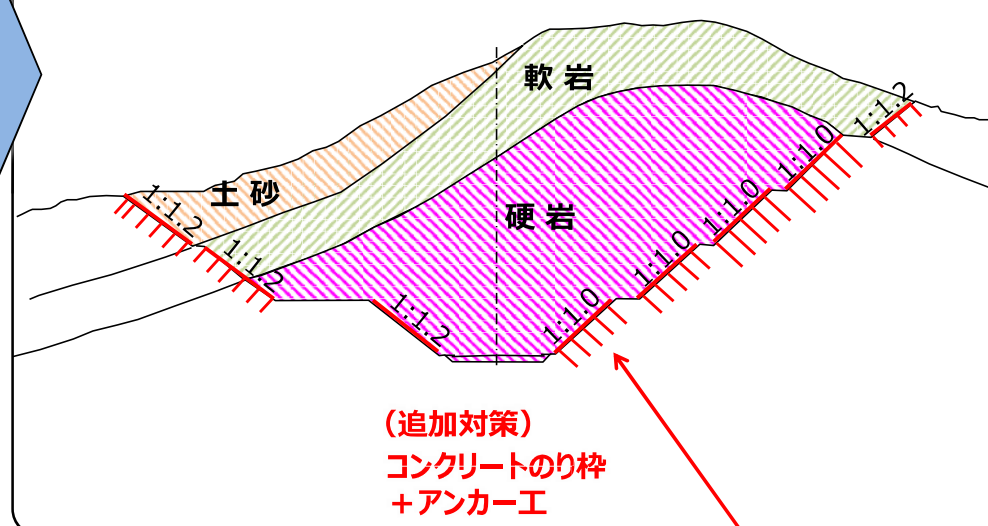
- 南部IC～下部温泉早川IC間の下八木沢地区の切土工事において、施工範囲周辺が地すべり地形であることが新たに確認されたとともに、着手前のボーリング調査において、軟岩と判定されていた地区で硬岩が出現する等、想定以上に地質の変化が大きいことが判明。
- このため、地滑り地形の範囲については、コンクリートのり枠+アンカーによる補強対策の追加、また、硬岩を掘削するための施工方法の見直し（バックホウ掘削からブレイカー掘削への変更）が発生。

#### 追加対策・施工方法の見直し

##### <当初>

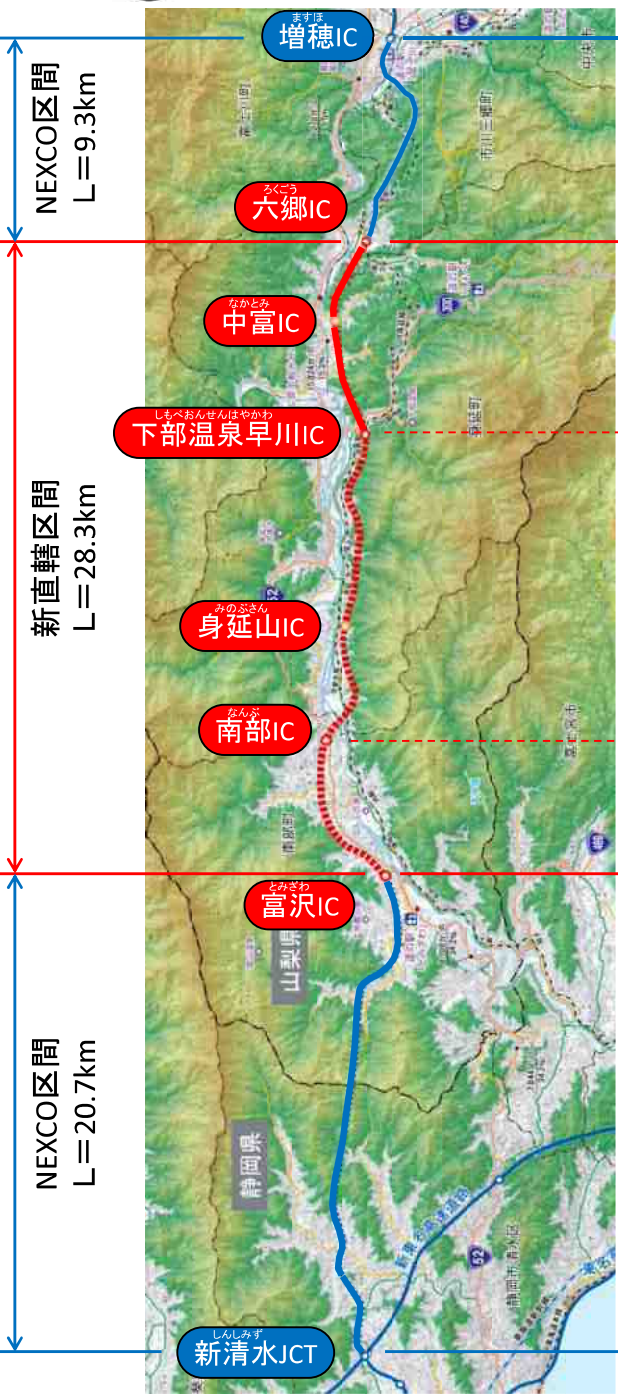


##### <変更>



※①～③について、概算で約360億円程度 増額の見込み

# 中部横断自動車道(新清水JCT～増穂IC)の工程について



現状の開通見通し (前回 2018(H30). 7)		新たな開通見通し (今回 2019(H31). 3)
2017.3.19開通		2017.3.19開通
2018年度開通		2019.3.10開通
2019年度開通※ ※トンネルの進捗が順調な場合	➔	2020年内開通
2019年夏頃開通		2019年夏頃開通
2018年度開通		2019.3.10開通